

2011年11月25日

2012年3月期 第2四半期決算説明会

日本山村硝子株式会社
代表取締役社長 山村幸治

目 次

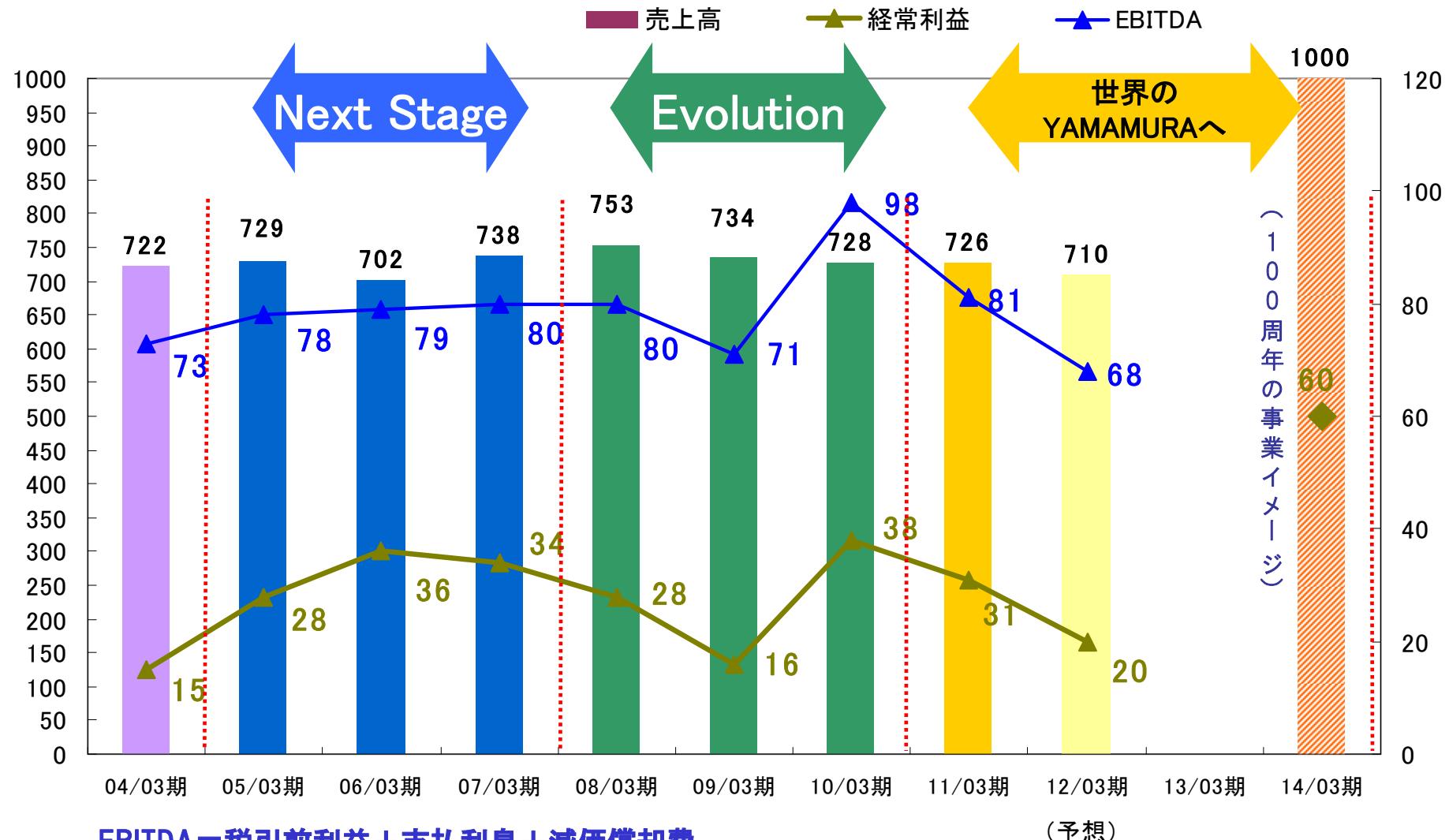
I 2012年3月期 第2四半期決算内容

II 2012年3月期 セグメント別業績と計画

III トピックス

業績推移と計画(10年レンジ)

単位: 億円



I 2012年3月期 第2四半期決算内容

- ◆ 四半期連結損益計算書
- ◆ セグメント情報
- ◆ セグメント別売上高・営業利益構成比
- ◆ 四半期連結貸借対照表
- ◆ 四半期連結C／F計算書

四半期連結損益計算書

単位:百万円(百万円未満切捨)

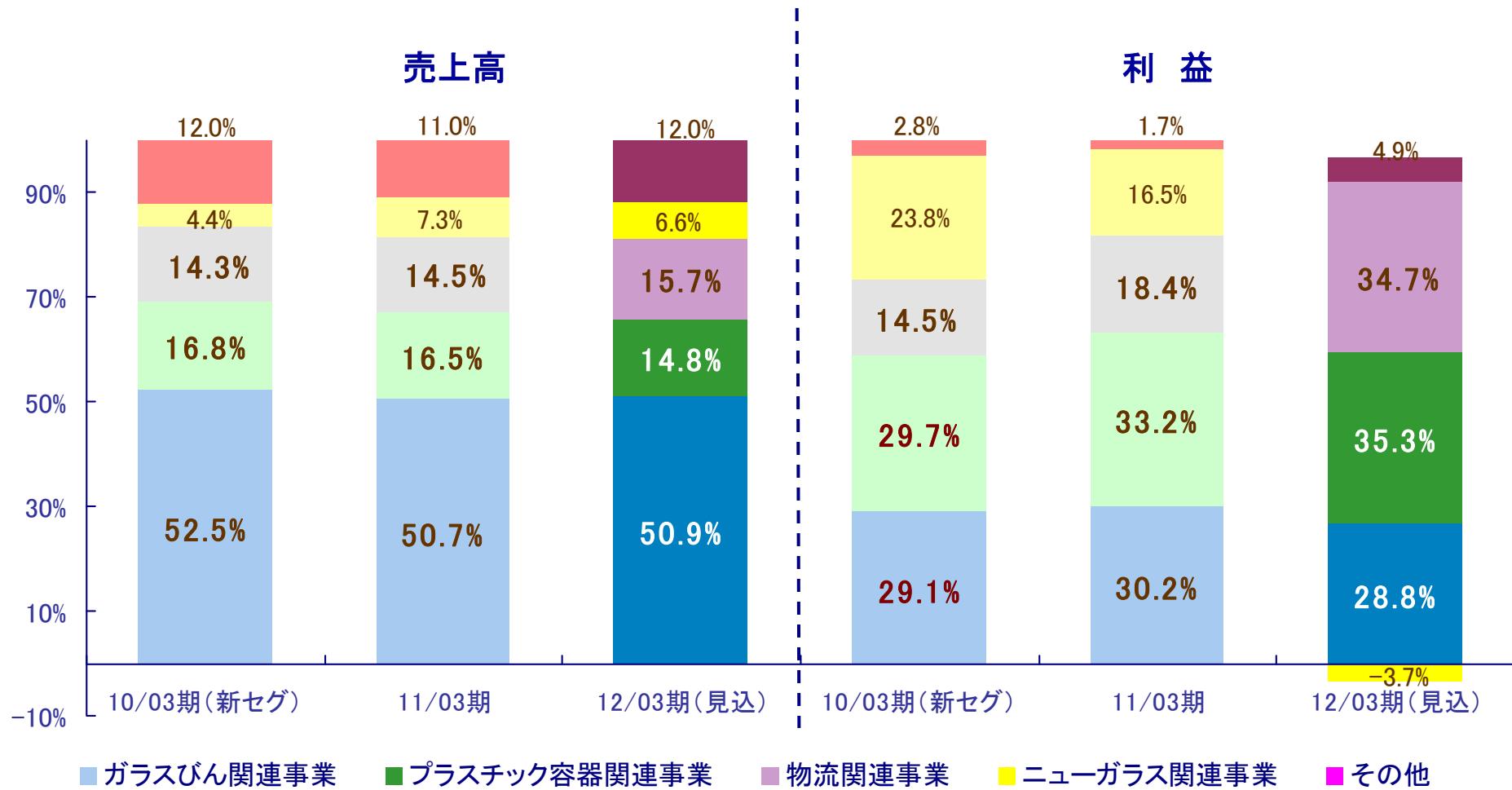
	2010/09	売上高比	2011/09	売上高比	増減額	増減率
売上高	38,390	100.0%	37,362	100.0%	△ 1,028	△ 2.7%
営業費用	36,437	94.9	35,876	96.0	△ 560	△ 1.5
売上原価	30,317	79.0	30,086	80.5	△ 231	△ 0.8
販売費及び一般管理費	6,120	15.9	5,790	15.5	△ 329	△ 5.4
営業利益	1,952	5.1	1,485	4.0	△ 467	△ 23.9
営業外収益	587	1.5	631	1.7	43	7.3
受取利息	4		3			
受取配当金	53		57			
持分法による投資利益	410		375			
その他	119		194			
営業外費用	355	0.8	298	0.8	△ 57	△ 16.1
支払利息	190		172			
その他	165		126			
経常利益	2,184	5.7	1,818	4.9	△ 366	△ 16.8
特別利益	374	1.0	0	0.0	△ 374	-
投資有価証券売却益	43		0			
負ののれん発生益	331		0			
特別損失	18	0.1	224	0.6	205	1128.7
災害による損失	-		136			
固定資産廃棄損	18		53			
その他	-		34			
税金等調整前四半期純利益	2,541	6.6	1,594	4.3	△ 947	△ 37.3
四半期純利益	1,685	4.4	1,099	2.9	△ 585	△ 34.7

セグメント情報

単位:百万円(百万円未満切捨)

セグメント	決算期	売上高	セグメント利益	利益率	概況
		(百万円)	(百万円)	(%)	
ガラスびん 関連事業	2011/09	18,695	382	2.0%	需要の低迷と販売価格の下落により、減収となった。固定費の減少があったものの原燃料価格の上昇による費用増加が大きく、減益となった。
	2010/09	19,067	647	3.4%	
	増減率	98.0%	59.0%		
プラスチック 容器関連事業	2011/09	5,986	713	11.9%	東日本大震災で宇都宮工場が被災し、生産が一時停止したこともあり減収となった。固定費の削減や、生産効率向上等に注力するも原料価格の上昇による費用増加の影響が大きく、減益となった。
	2010/09	7,266	757	10.4%	
	増減率	82.4%	94.1%		
物流関連事業	2011/09	5,626	206	3.7%	新規開拓および既存顧客の物量増等により、增收となった。しかし、既存業務の単価引下げや、新規業務に伴う先行支出費用の負担があり、減益となった。
	2010/09	5,338	371	7.0%	
	増減率	105.4%	55.5%		
ニューガラス 関連事業	2011/09	2,627	115	4.4%	プラズマテレビ用粉末ガラスの出荷が低調であったが、前年に子会社化した山村フォトニクスの売上が寄与し、增收となった。固定費削減等に尽力したもの、大幅な減益となった。
	2010/09	2,394	290	12.2%	
	増減率	109.7%	39.8%		
その他	2011/09	4,426	56	1.3%	エンジニアリング事業が減収となるなか、商社部門が売上を伸ばし、增收となった。しかし、エンジニアリング事業の減益幅が大きく、減益となった。
	2010/09	4,323	59	1.4%	
	増減率	102.4%	93.8%		

セグメント別売上高・利益構成比



(注)11/03期よりセグメント区分を変更。10/03期は遡及適用した区分を記載しております。

連結貸借対照表(資産の部)

単位:百万円(百万円未満切捨)

	2011/03末	2011/09末	増減額
流動資産	41,109	41,755	646
現金及び預金	12,106	10,359	△ 1,746
受取手形及び売掛金	19,189	22,157	2,968
商品及び製品	5,763	5,737	△ 25
仕掛品	380	411	30
原材料及び貯蔵品	2,026	2,031	5
その他	1,676	1,091	△ 585
貸倒引当金	△ 33	△ 33	0
固定資産	53,613	52,718	△ 895
有形固定資産	32,239	30,989	△ 1,249
無形固定資産	430	405	△ 25
投資その他の資産	20,943	21,323	379
投資有価証券	2,556	2,597	40
関係会社株式	14,459	14,814	354
その他	3,997	3,971	△ 25
貸倒引当金	△ 70	△ 59	10
資産合計	94,722	94,474	△ 248

連結貸借対照表(負債・純資産の部)

単位:百万円(百万円未満切捨)

	2011/03末	2011/09末	増減額
流動負債	17,510	16,096	△ 1,414
支払手形及び買掛金	7,209	7,961	752
短期借入金	5,053	3,965	△ 1,088
その他(1年内社債含む)	5,248	4,169	△ 1,079
固定負債	26,317	26,804	487
社債	1,000	1,000	-
長期借入金	17,380	17,780	400
退職給付引当金	3,549	3,325	△ 224
特別修繕引当金	3,915	4,190	274
その他	471	508	37
負債合計	43,827	42,900	△ 926
資本金	14,074	14,074	-
資本剰余金	17,300	17,300	-
利益剰余金	25,665	26,397	732
自己株式	△ 1,218	△ 1,219	△ 1
その他有価証券評価差額金	△ 28	△ 8	20
繰延ヘッジ損益	23	△ 28	△ 52
為替換算調整勘定	△ 4,966	△ 4,987	△ 20
少数株主持分	43	43	
純資産合計	50,894	51,573	678
負債及び純資産合計	94,722	94,474	△ 248

四半期連結C/F計算書(要約)

単位:百万円(百万円未満切捨)

	2010/09	2011/09	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	563	1,908	1,344
投資活動によるキャッシュフロー	△2,448	△2,554	△106
財務活動によるキャッシュフロー	△990	△1,094	△103
現金及び現金同等物の減少額	△2,880	△1,746	1,133
現金及び現金同等物の期首残高	12,651	12,106	△545
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,770	10,359	588

10/09期主な項目

◇ 営業活動キャッシュフロー(563)

- ①税金等調整前当期純利益(2,541)
- ②減価償却費(2,292)
- ③売上債権の増加額(△3,110)
- ④法人税等の支払額(△1,194)

◇ 投資活動キャッシュフロー(△2,448)

- ①有形固定資産の取得による支出(△1,394)
ガラス・プラスチック・ニューガラスなどの生産設備更新
- ②連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出(△603)

◇ 財務活動キャッシュフロー(△990)

- ①長期借入金の返済による支出(純額で△500)
- ②配当金の支払額(△420)

11/09期主な項目

◇ 営業活動キャッシュフロー(1,908)

- ①税金等調整前当期純利益(1,594)
- ②減価償却費(2,289)
- ③売上債権の増減額(△2,907)

◇ 投資活動キャッシュフロー(△2,554)

- ①有形固定資産の取得による支出(△2,475)

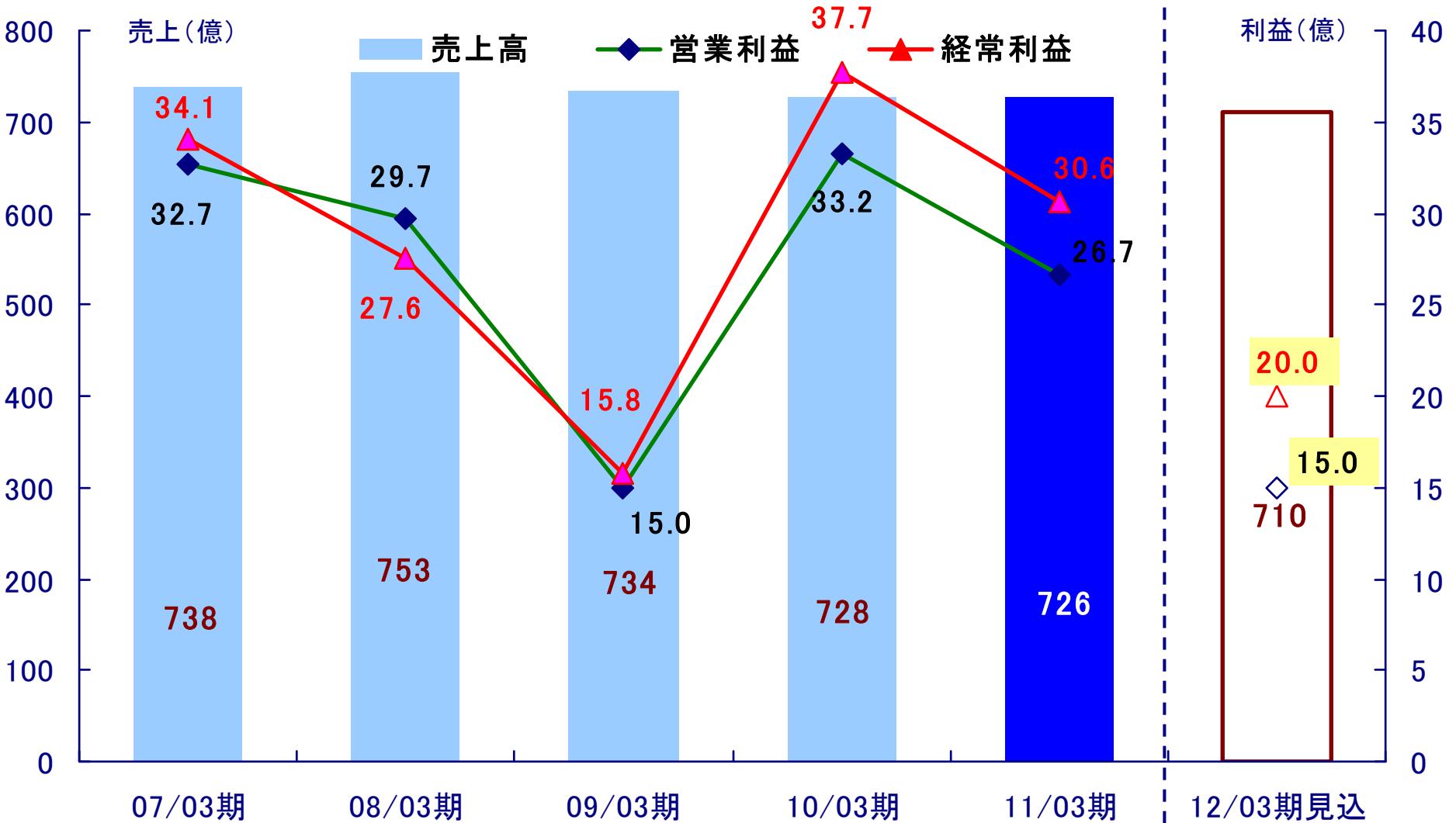
◇ 財務活動キャッシュフロー(△1,094)

- ①長期借入金の返済による支出(純額で△700)
- ②配当金の支払額(△367)

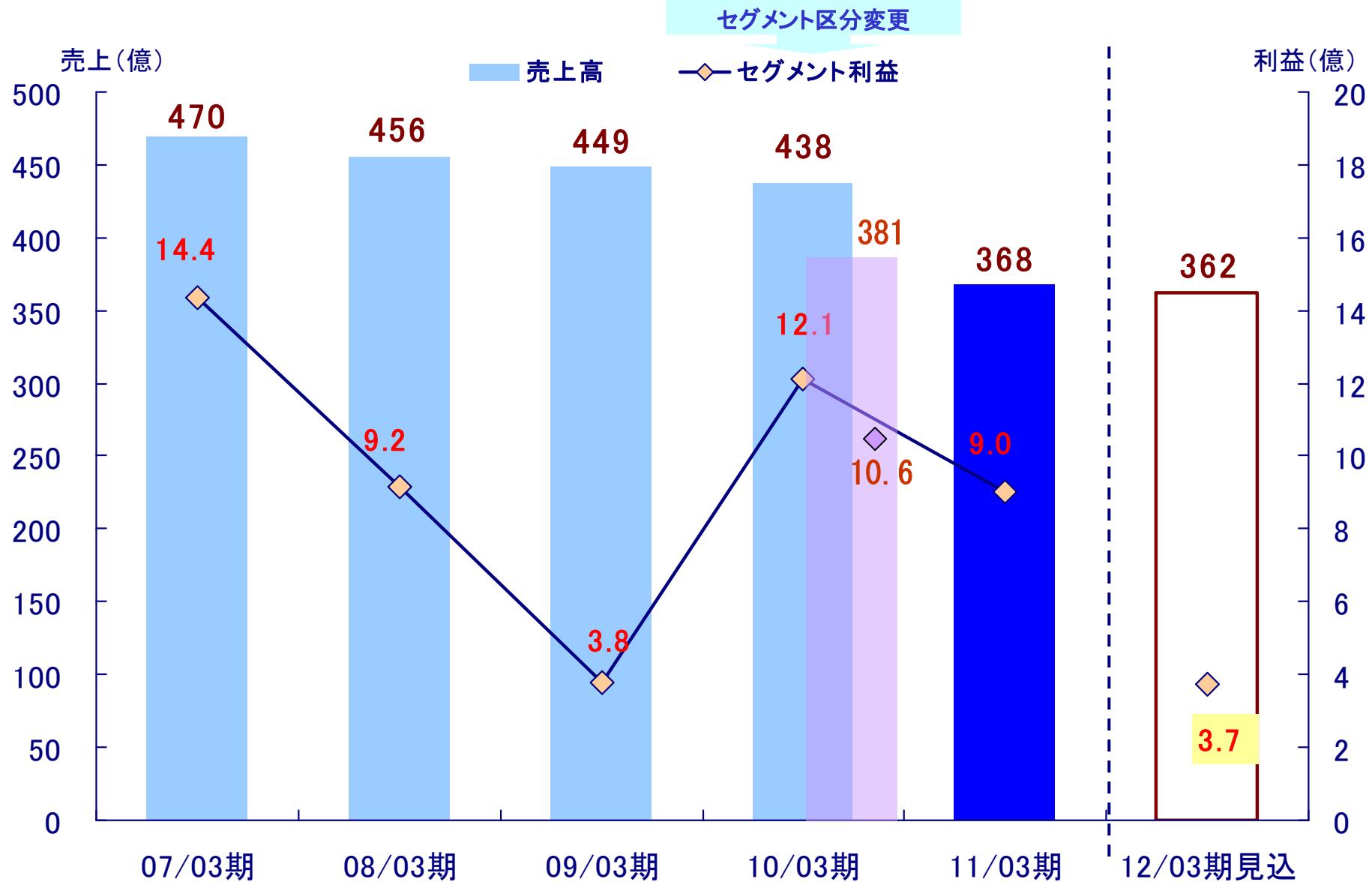
Ⅱ 2012年3月期 セグメント別業績と計画

- ◆ 連結及びセグメント別業績と計画
- ◆ (ご参考)海外関係会社の業績推移

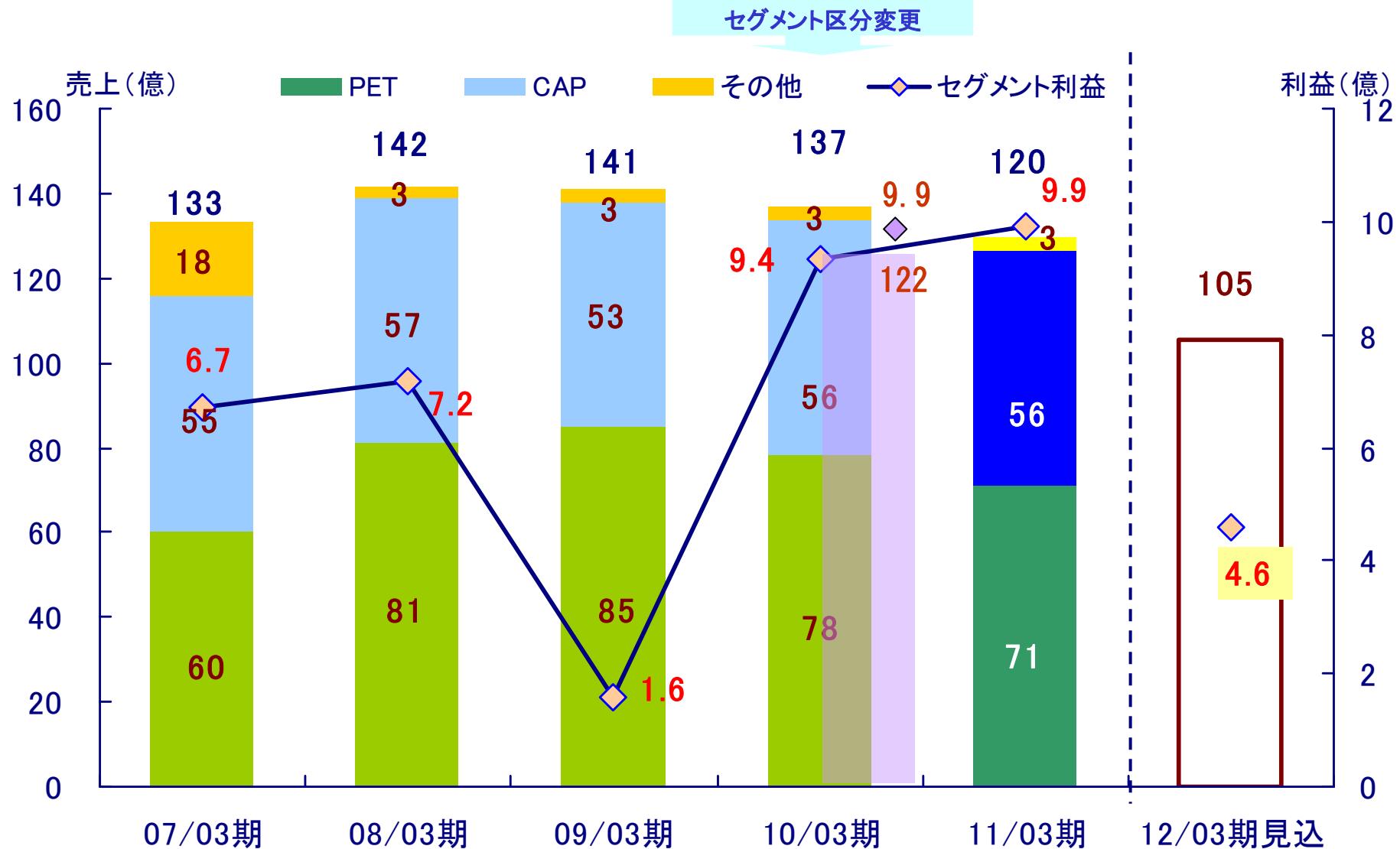
連結業績推移



業績推移—ガラスびん関連事業

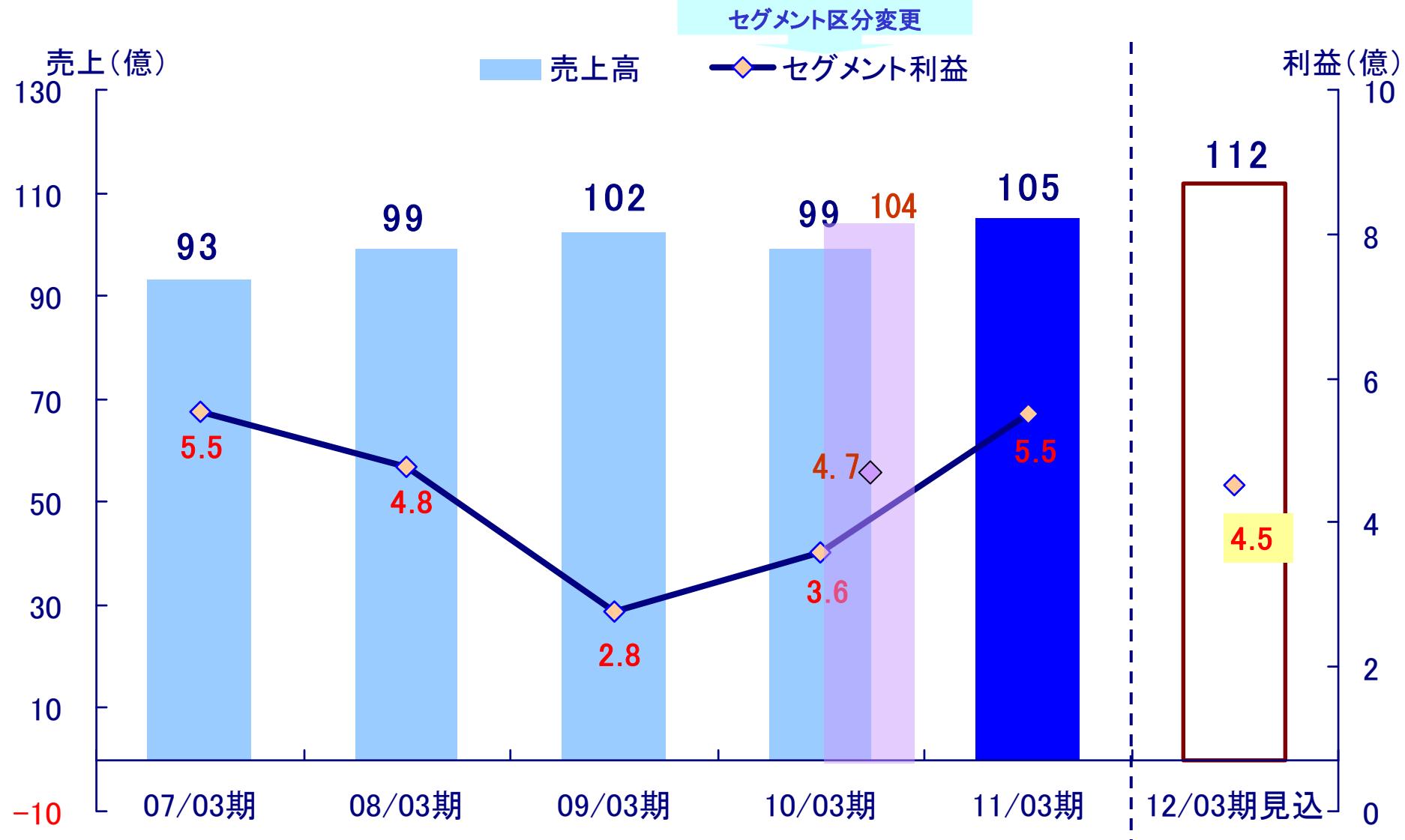


業績推移—プラスチック容器関連事業

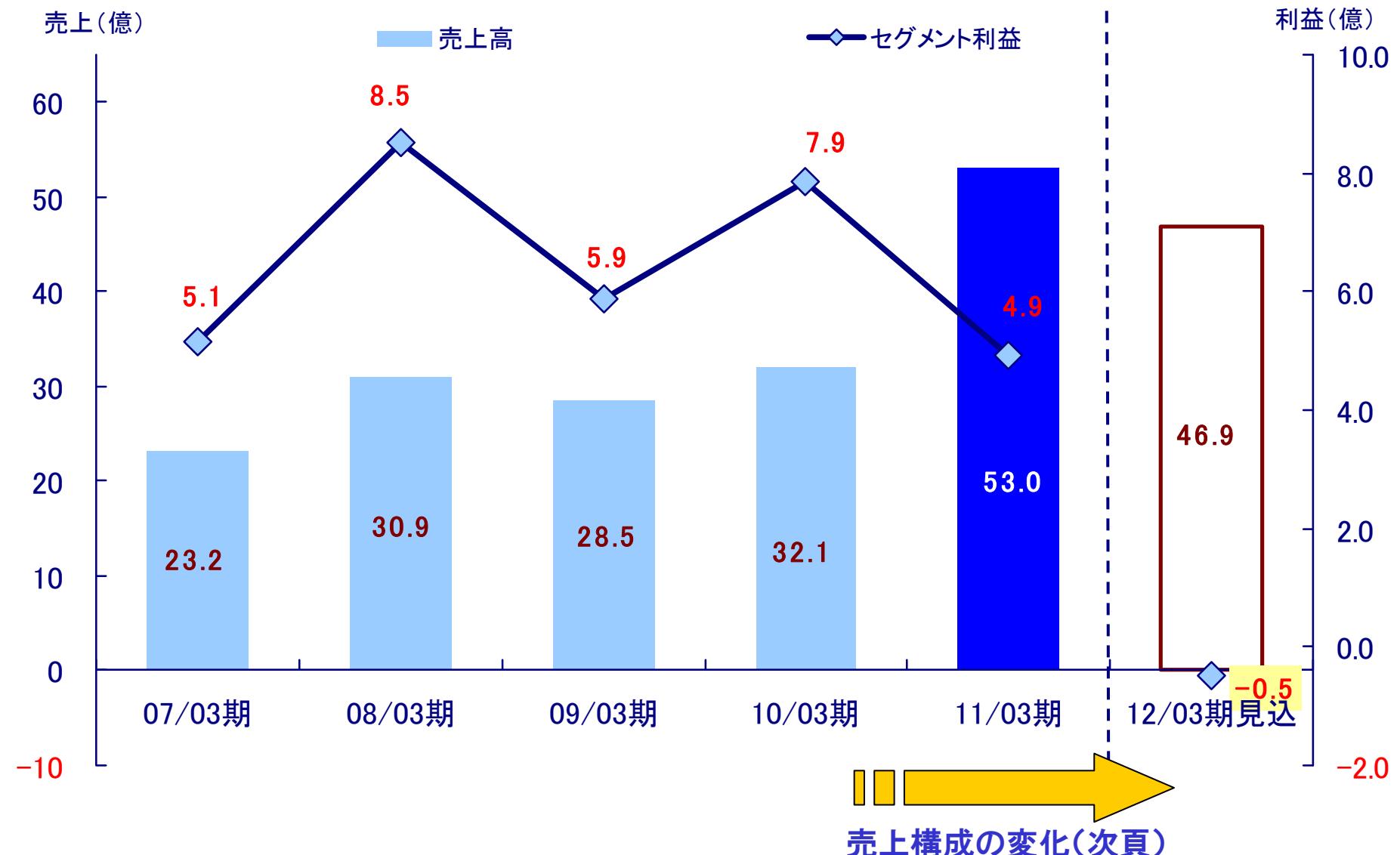


※新セグメントで遡及計算したもの

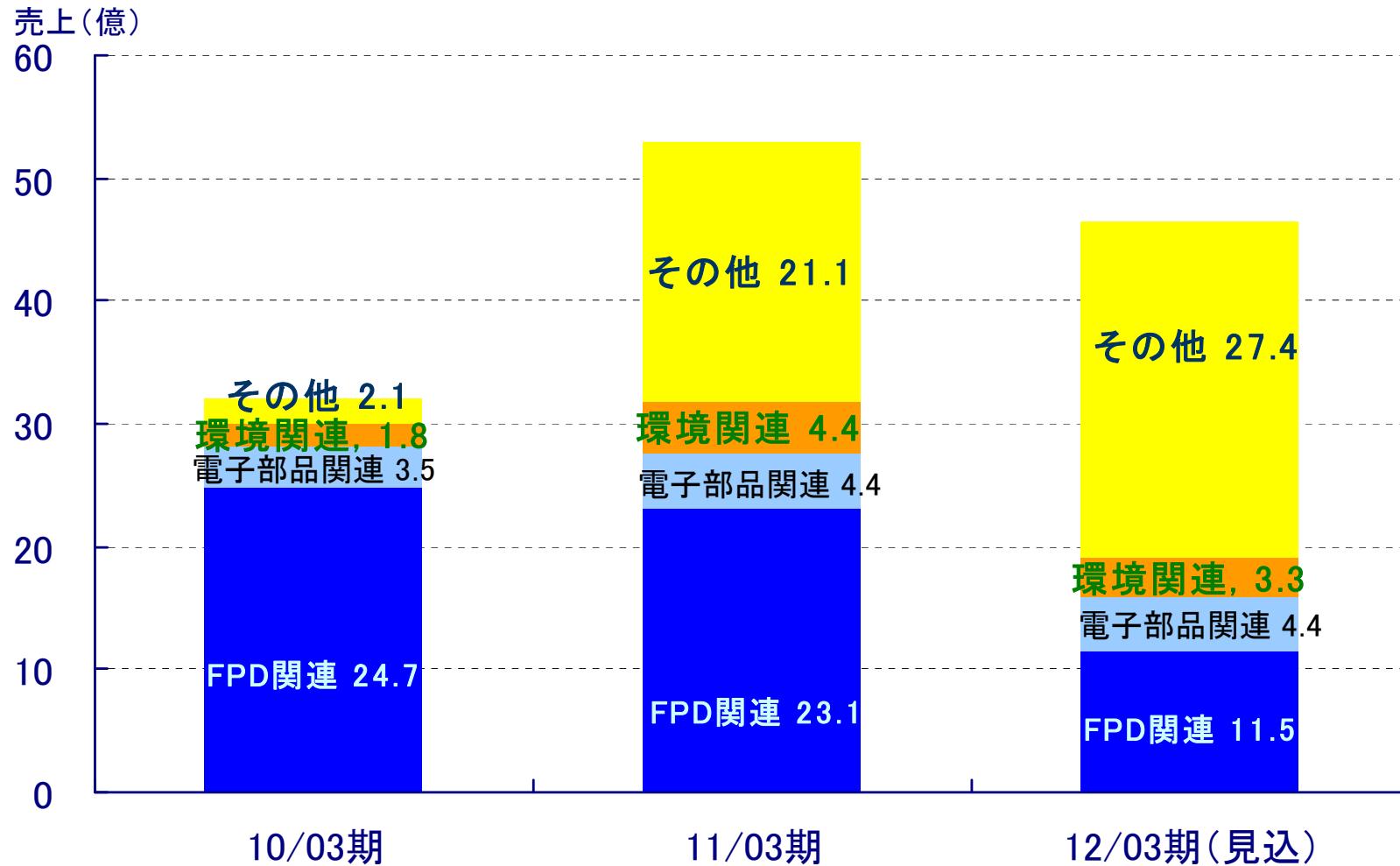
業績推移－物流関連事業



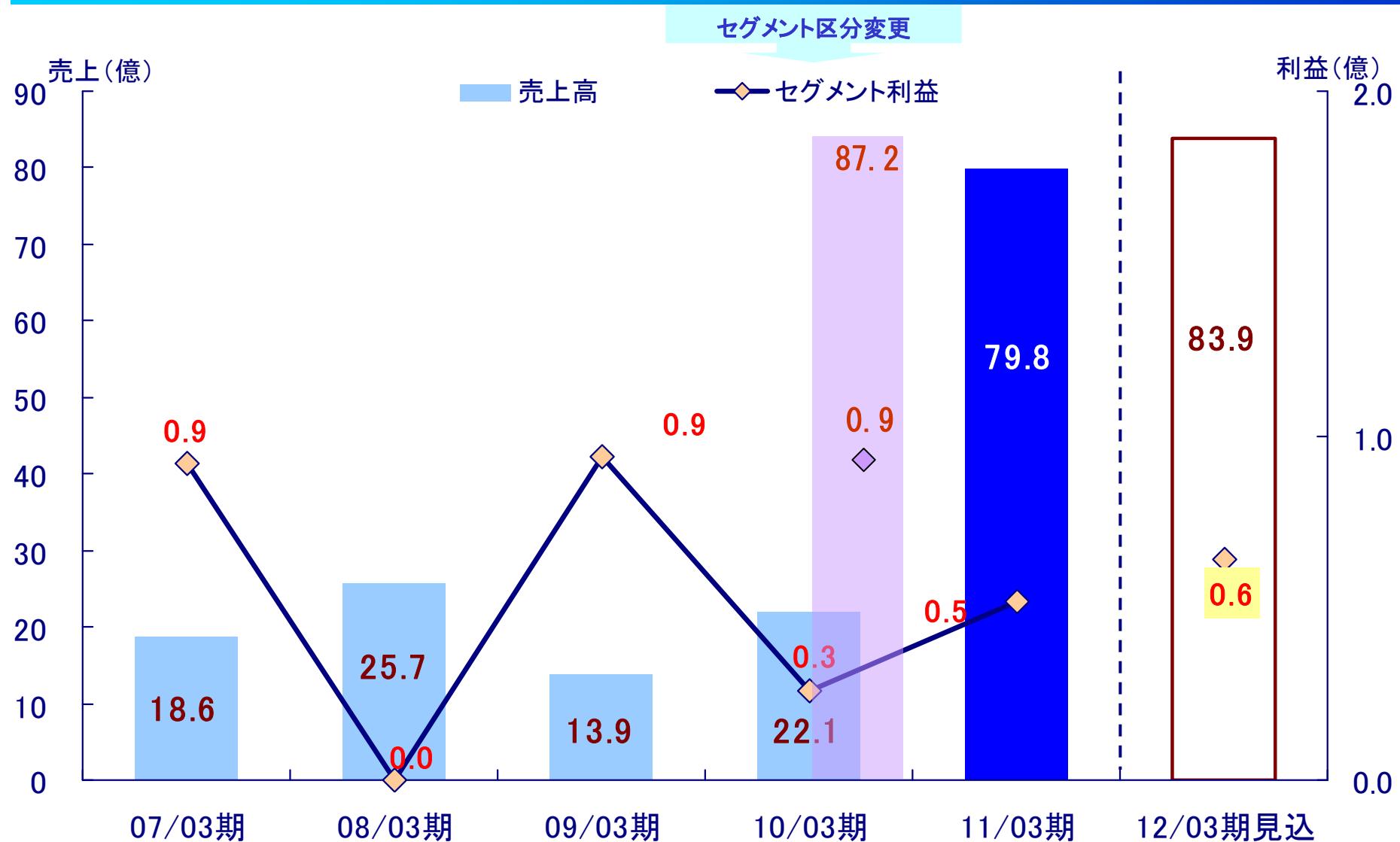
業績推移－ニューガラス関連事業



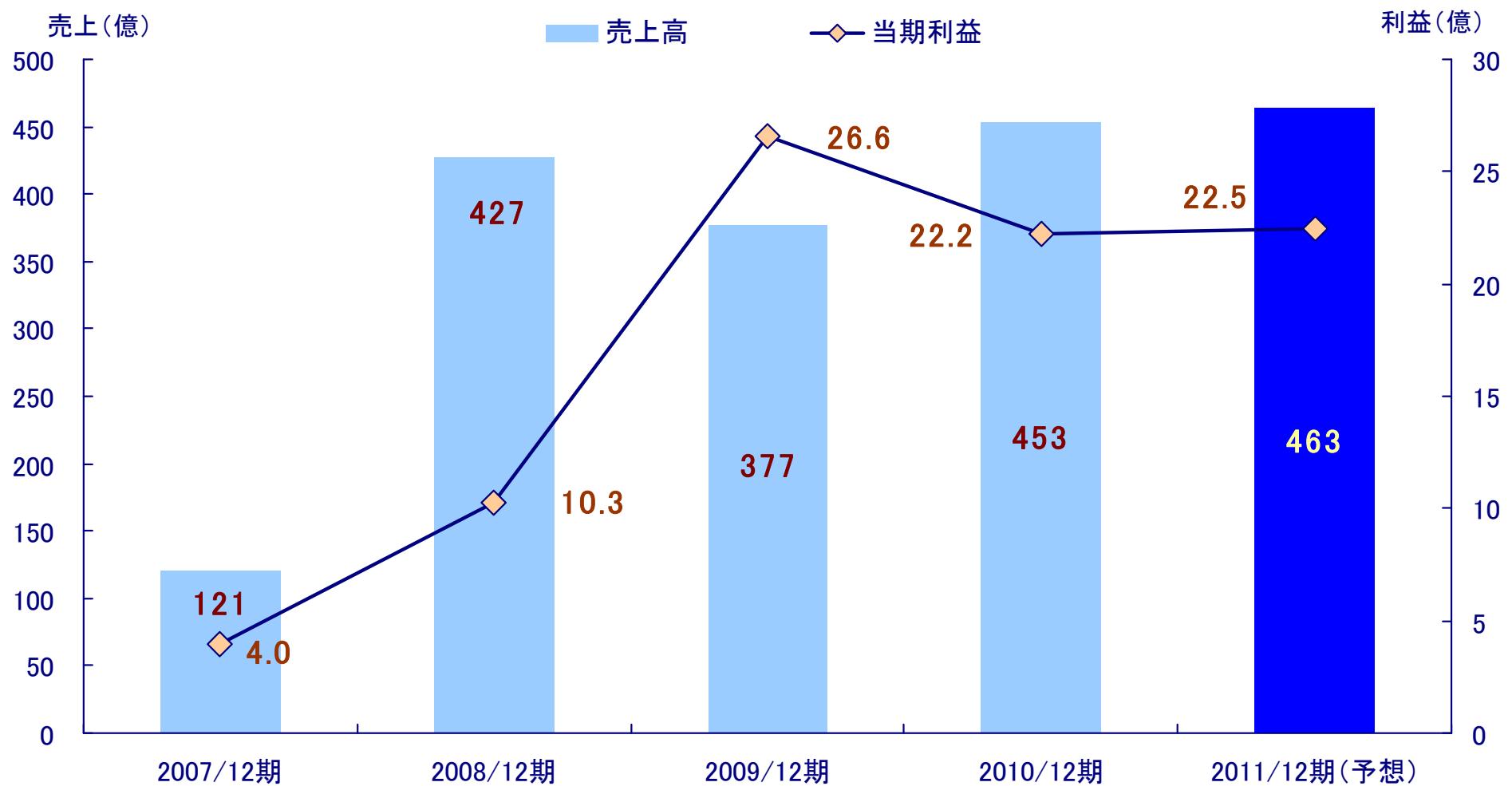
ご参考：業績推移—ニューガラス関連事業（内訳）



業績推移－その他



ご参考:海外関係会社の業績推移



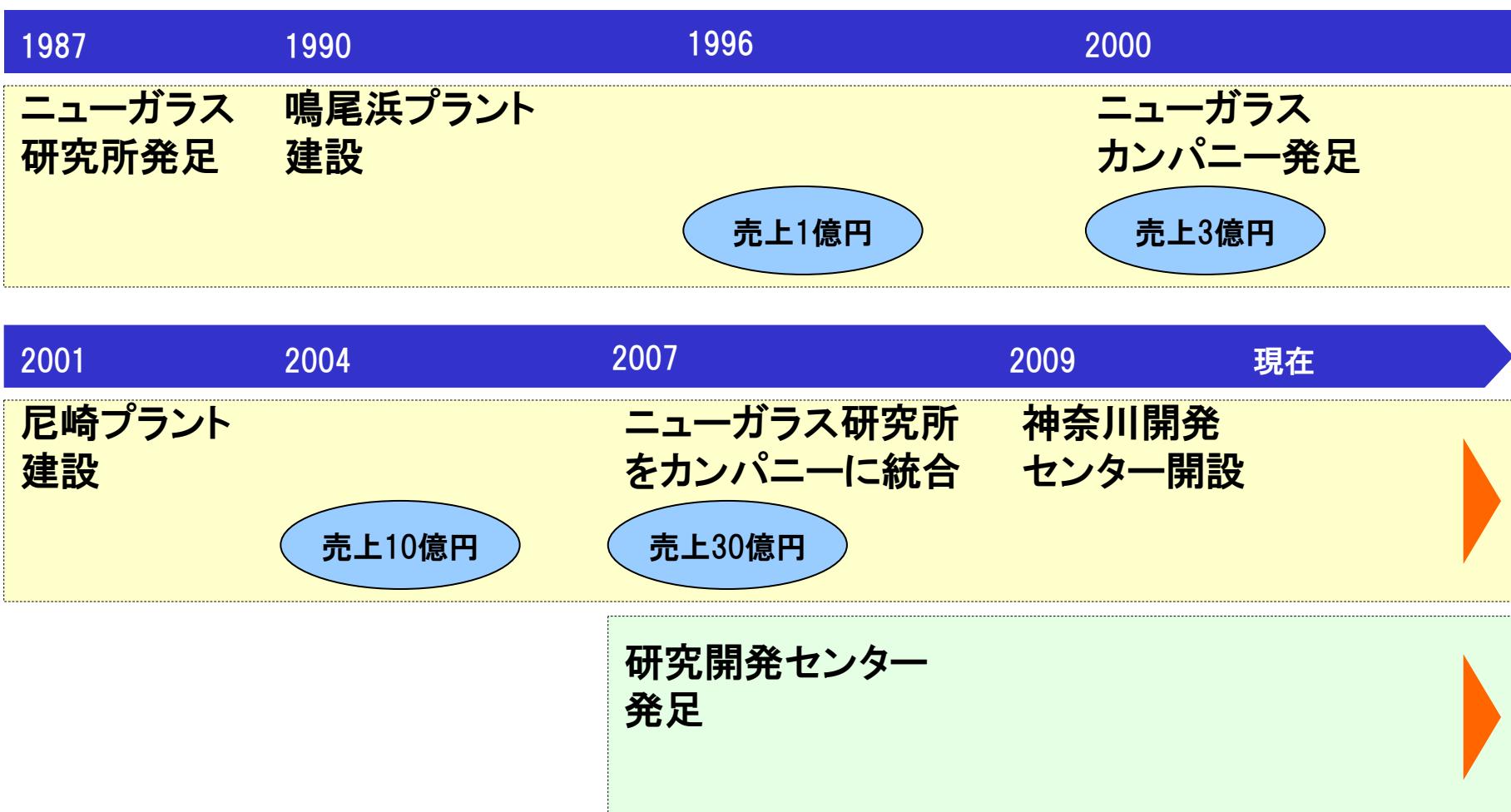
注)当社の利益は持株比率となります。

IV トピックス

- ◆当社研究開発の歴史
- ◆関西本社隣に研究開発センター棟を建設

IV トピックス

当社研究開発の歴史



IV トピックス

関西本社隣に研究開発センター棟を建設

2007年4月に発足した当社研究開発センターでは、次世代のパッケージをはじめ、当社の新しい事業分野を創出すべく、研究を進めております。

この度、兵庫県尼崎市の関西本社社屋に隣接した研究開発センター棟を建設し、R&Dのさらなる推進を図ってまいります。

概要

- ・竣工予定
2012年5月末
- ・建築面積1140m²
施工延面積1455m²



IV トピックス

【既存事業とのシナジー】

ネクストパッケージの開発(フィルム製立体容器の開発に着手)



2010年10月東京パック 当社出展ブース

- ・ 軟包装に焦点を絞り、新しい容器の開発を開始。
- ・ 「東京パック2010」に参考出展し、
ユーザーニーズの取り込みを実施。



現在開発中の製品: ポリゴン パック™

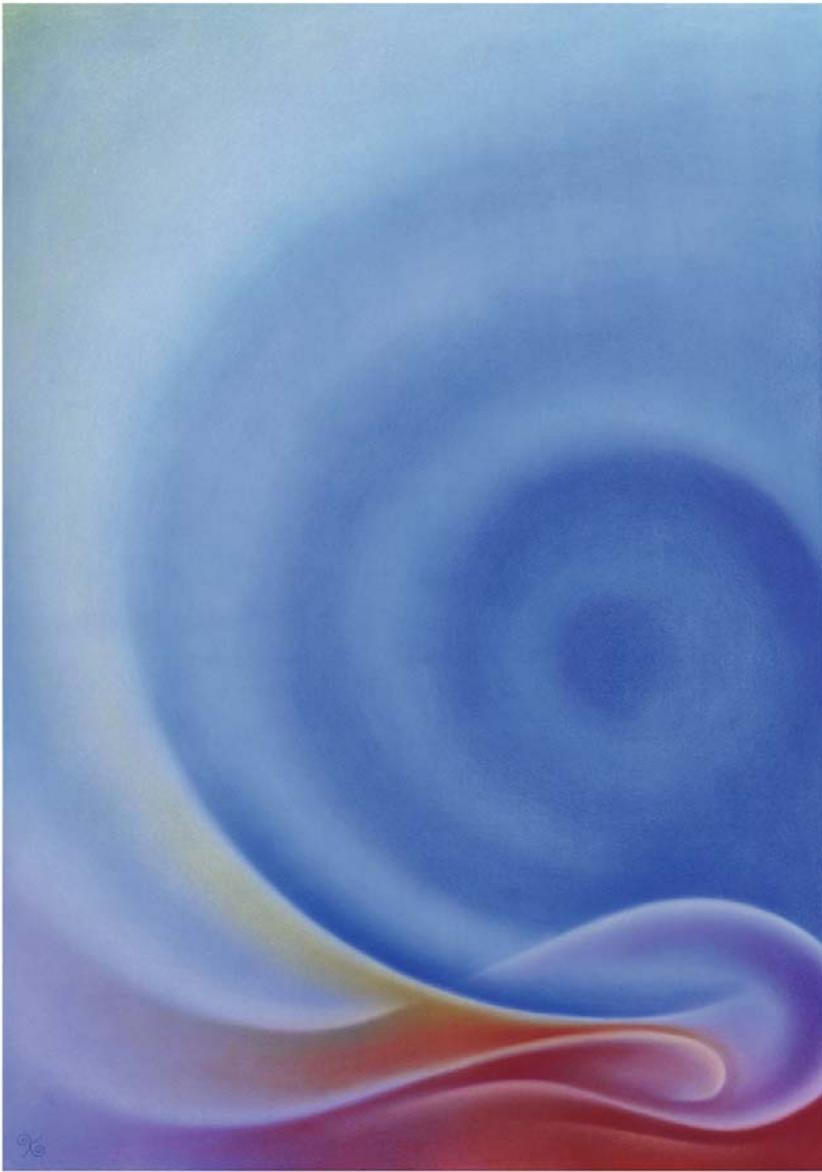
IV トピックス

【新しい事業分野への進出】植物工場の開発

- ・新規事業分野への進出を目指し、2006年より取り組みを開始。
- ・付加価値の高い栽培技術と品種を研究開発中。



世界のYAMAMURAへ
-心と技術を伝えたい-



この絵「Vision Art (ビジョンアート)」は、山村グループ経営幹部全員の「世界のYAMAMURAへ」に対する想いをアーティストに描いてもらつたものです。
山村グループが、創業以来育んできた「心と技術を通じ社会に貢献する」精神を大切に、世界に誇れる“YAMAMURA”ブランドを確立したい。その意志を1枚の絵で表現しています。
皆さんはこの絵から、何を感じますか?

日本山村硝子株式会社

ご清聴

ありがとうございました。

日本山村硝子株式会社

[http:// www.yamamura.co.jp/](http://www.yamamura.co.jp/)
お問い合わせ先：コーポレート本部広報部長 堤
Tel (03)3349-7219 (ダイヤルイン)
Fax (03)3348-2349
E-mail: tsutsumi_k@yamamura.co.jp